

在来ます（スギノコ）調査

担当者 増殖課長 頼 茂

主任研究員 高 橋 邦 夫

I 調査目的

大畑川におけるスギノコの生態に関する調査をおこない今後における資源維持上の資料とするものである。

II 調査内容

- (1) 調査期間 昭和43年8月～9月
- (2) 調査場所 下北郡大畑町 大畑川
- (3) 調査項目

(イ) 河川環境、魚類分布調査

(ロ) スギノコ魚体調査

- (4) 調査方法

(イ)については現地で河川踏査並びに漁獲試験をおこない、(ロ)は魚獲したスギノコを10%ホルマリン漬したものを持ち帰り調査をおこなった。

III 調査結果

- (1) 河川環境、魚類分布については第1図第1表に示したが、環境としては9月中旬の15℃から16.4℃また上流域の11.2～15.6℃は一体に他の河川に比して時期的水温としては低目である。水質は透視度30cm以上の清澄な水で9月は少々酸性（6.6～6.9）であるが魚の棲息上問題はない。
PH
- (2) スギノコの棲息分布範囲は、川口から約21km上流の赤滝より上流の本支流にあり、この区域にはイワナは棲息しない。
- (3) 赤滝から上流におけるスギノコ漁獲試験の結果は第2表のとおりである。
- (4) スギノコはヤマメに比し体長に対する体高の比が少々低く幽門垂数の範囲もヤマメに比して狭い。（第3表）
- (5) 体色は青味を帯び、斑紋（parr-mark）の数も一般にヤマメより多い傾向にある。また成長度もヤマメに比して遅れているようである。
- (6) 雌雄比は畧々同数である。5%の危険率では雌雄の間に有意の差がない。（第4表）
- (7) スギノコの雌1尾の卵数は200粒から500粒の間にある。

IV 考察

- (1) 年令別の成長範囲からみて少くとも1年魚についてはヤマメの成長と同程度かそれより少々劣る原因の一つとして河川水温が一般に低いことが影響しているものと考えられるが成長度に関連して棲息密度と餌料関係についても今後調査をおこなう必要がある。
- (2) 今回の調査では赤滝から下流にスギノコを認めることができなかったが、赤滝から下流の本

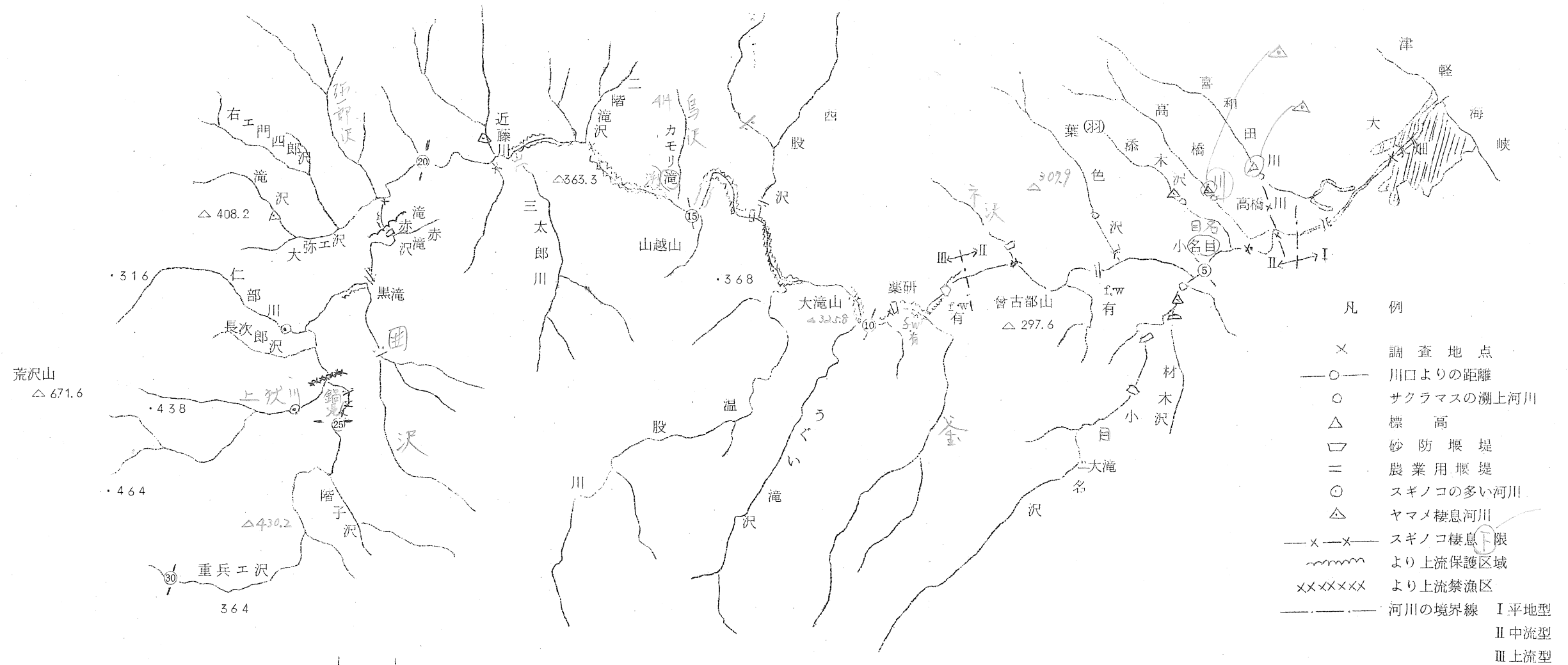
流筋にも棲息する可能性が強い。

- (3) スギノコについては不明の点が多いが、特に資源維持の上から天然における産卵生態について明らかにする要がある。

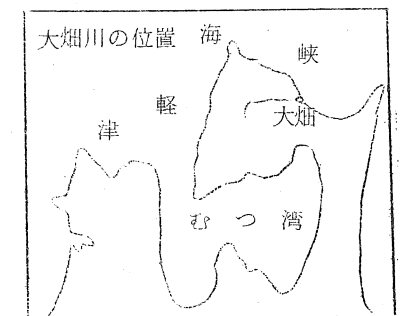
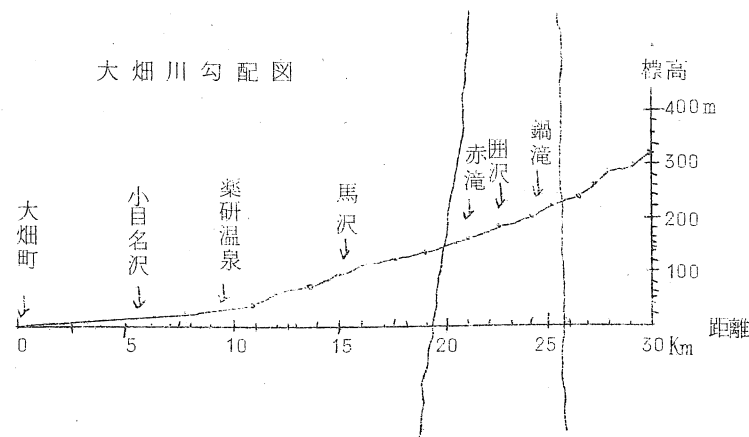
第2表 スギノコ採捕実績表

採捕年月日	河川名	距離	採捕時間	採捕尾数	漁具と人員
43. 8. 3	仁部川, 田沢, 長次郎沢	6.0 Km	4 時間	55 尾	投網 1名
	上狄川, 階子沢			300 尾	〃 1名
	重兵エ沢			40 尾	〃 1名
43. 9. 3	赤滝より黒滝間 (本流筋)	0.8 Km	2.5 時間	27 尾	釣 2名
43. 9. 19	赤滝より田沢までの本流筋	2.0 Km	2 時間	50 尾	投網 1名
	重兵エ沢	4.0 Km		6 尾	〃 1名
計				208 尾	

第1図 大畑川水系図



大畑川勾配図



第1表 大畑川における観測値

調査地点	観測月日	時刻	天候	水温	P・H	底質	川幅 幅	流速	棲息魚種
大畑上橋	43.9.3	8°25'	b c	16.3°C	6.6	砂泥	7.0m 7.0m		ハゼ・ウグイ・ドジョウ・カレイ・エビ メダカ (コイ・フナ)
アユ (馬)	〃	9°15'	c	15.4°C	6.8	礫	5.0m 3.0m	0.44m/sec	アユ・カジカ・ミゴイ・ウグイ・ (ヤマメ)
薬研温泉	〃	10°30'	b c	15.6°C	6.8	礫	2.0m 1.5m	0.58m/sec	ニジマス・イワナ (ウナギ・スギノコ)
二階滝沢	〃	11°10'	c	15.0°C	6.9	砂礫	2.5m 1.0m	0.95m/sec	イワナ・ヤマメ) (流量 2.6m³/sec)
黒滝	〃	12°35'	c	16.4°C	6.8	〃	2.0m 1.5m	0.44m/sec	スギノコ
鍋滝	〃	13°10'	b c	15.6°C	6.7	〃	1.0m 3m	0.97m/sec	スギノコ
小目名沢と 林沢と合流	〃	9°50'	c	14.6°C	—	—	—	—	ヤマメ・イワナ・アユ・アメマス (スギノコをみることあり)
高橋川	〃	9°35'	—	13.1°C	—	—	—	—	ヤマメ・イワナ (スギノコをみることあり)
添木沢	〃	9°40'	—	13.4°C	—	—	—	—	ヤマメ・イワナ
黄色沢	〃	10°05'	—	12.6°C	—	—	—	—	ヤマメ・イワナ
不老滝	〃	10°10'	—	8.8°C	—	—	—	—	
赤滝沢	〃	12°15'	—	11.2°C	—	—	—	—	
囲沢	〃	12°55'	—	15.0°C	—	—	—	—	スギノコ
太兵衛沢	〃	12°00'	—	15.1°C	—	—	—	—	ヤマメ・イワナ (20年前はイワナよりヤマメ多し)
うぐいす滝沢	〃	15°20'	—	14.0°C	—	—	—	—	イワナ
温股沢	〃	13°00'	—	15.6°C	—	—	1.3m 4m	—	ヤマメ・イワナ
西股沢	〃	10°50'	—	13.0°C	—	—	1.3m 5m	—	イワナ

潮感域は川口より 2Km 上流まで

第3表 スギノコとヤマメの形態比較

種類	産地名	BL・BH (範囲)	総尾数	幽門垂数	標本数	備考
スギノコ	大畑川	4.29 (3.88~4.80)	15~19	33~41	18尾	
ヤマメ	老部川	4.05 (3.25~4.58)	16~20	33~56	16尾	
ヤマメ	平沢川	4.01 (3.80~4.25)	—	—	5尾	岩木川水系
ヤマメ	追良瀬川	4.14 (3.94~4.44)	—	—	13尾	
ヤマメ	養殖もの	4.43 (3.89~4.96)	—	—	10尾	相坂養魚場

第4表 スギノコ雌雄別年令組成

性別 \ 年令	0	1	2	3	合計	備考
雄	2	1	4	2	9	
雌	3	0	4	2	9	
合計	5	1	8	4	18	
全長範囲 (cm)	61~105	93~140	186~224	246~296		

第2図 スギノコの全長組成

